

## 共に学び合い自己実現を図ろうとする 大和っ子の育成

～豊かな人間関係と学びの確立を目指した  
小・中連携の在り方～

光市立塩田小学校  
三輪小学校  
岩田小学校  
東荷小学校  
大和中学校

1



2

## 大和地域の特色

・美しい緑に囲まれた自然みあふれる静かな地域



・初代内閣総理大臣 伊藤博文の生誕の地

3

## 大和地域の学校

・小・中合わせて5校の学校



塩田小学校



三輪小学校



岩田小学校



東荷小学校



大和中学校

4

## 学校と児童生徒の課題

- ・コミュニケーション能力の不足
- ・固定化された人間関係や学校ごとに異なる学習規律・生活習慣
- ・中学校生活への不適應



5

## 小・中連携教育の必要性

小・中学校が密接に連携して

- ・学習や生活上の問題の現状把握
- ・方向性の共有化、協働実践

6

## 研究主題

共に学び合い

自己実現を図ろうとする  
大和っ子の育成

～豊かな人間関係と学びの確立を目指した  
小・中連携の在り方～

7

## 平成22年度の取組

- ・ 授業改善の推進
- ・ 交流活動の推進
- ・ 望ましい学習習慣及び生活習慣の確立



8

## 授業改善の推進

- ・ 「自分の考えを持ち、伝える場の設定」を視点とした授業改善の推進
- ・ 外国語活動(小)と外国語科(中)との学習内容や指導方法などの連携



自己肯定感の高揚や学級内の  
支持的風土の醸成が課題



9

## 交流活動の推進

- ・ 中学生が小学校を訪問し交流

中学生→自己有用感、思いやりの心  
小学生→中学校や中学生への憧れの心



「小から中」「小と小」など、  
さまざまな交流実践が課題

10

## 望ましい学習習慣及び生活習慣の確立

- ・ 「学習のきまり」
- ・ 「家庭学習の手引き」の作成と指導
- ・ 身構え・物構え・心構え

など指導や家庭への周知



一層の指導、周知を継続して行い、変容を促す必要

11

## 学習のきまり

- ① 授業が終わったら、次の授業の準備をして休憩に入る。
- ② 早めに着席し、授業の心構えをつくる。
- ③ 先生の話や友達の発表を最後まで黙って聞く。
- ④ 自分の意見をはっきりと聞こえる声で話す。
- ⑤ 学習したことをノートに丁寧に書く。
- ⑥ 背筋を伸ばした姿勢ですわる。

12

## 家庭学習の手引き 低～中学年

かていがくしゅうのてびき 1-2年生用 120分

家庭学習の手引き 3-4年生用 40分

1. 勉強の時間

科目	時間	曜日	時間	曜日
国語	15分	月	15分	月
算数	15分	火	15分	火
英語	15分	水	15分	水
理科	15分	木	15分	木
社会	15分	金	15分	金

2. 勉強の仕方

3. 勉強の場所

4. 勉強の道具

## 家庭学習の手引き 高学年～中学生

家庭学習の手引き 5-6年生用 60分

家庭学習の手引き 中学生用 90分

1. 勉強の時間

科目	時間	曜日	時間	曜日
国語	15分	月	15分	月
算数	15分	火	15分	火
英語	15分	水	15分	水
理科	15分	木	15分	木
社会	15分	金	15分	金

2. 勉強の仕方

3. 勉強の場所

4. 勉強の道具

## 平成23年度の取組

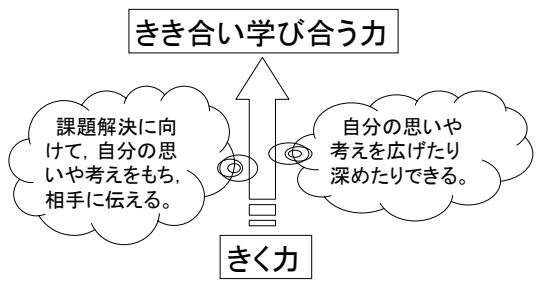
- 「学習習慣研究部」「生活習慣研究部」を研究の土台として、
- ・「きき合い学び合う力を育む授業改善研究部」
  - ・「コミュニケーション能力を育む 外国語活動・外国語科連携研究部」
  - ・「豊かな人間関係を育む交流学習推進研究部」
- の3部会で研究

## 授業改善研究部

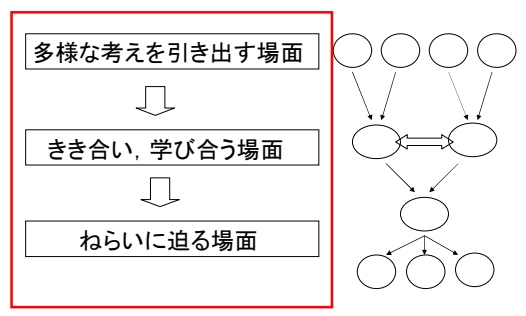
- ・「きき合い学び合う力」に着目して授業改善を進める
- ↓
- ・支持的な集団づくりを進め、児童生徒に、相手の気持ちや考えを尊重する態度と主体的に学習に取り組む姿勢を育て、「生きる力」を育成する

## ねらい達成の方途

### ①「きき合い学び合う力」についての共通理解



### ②授業構造についての研究



### ③授業改善の視点に基づいた授業評価

授業評価	
評価項目	評価
1. 多様な考えを引き出す場面での適切な支援ができたか。	4 3 2 1
2. きき合い学び合う場面での適切な支援ができたか。	4 3 2 1
3. ねらいに迫る場面での適切な支援ができたか。	4 3 2 1

#### 授業評価の観点

1. 多様な考えを引き出す場面での適切な支援ができたか。
2. きき合い学び合う場面での適切な支援ができたか。
3. ねらいに迫る場面での適切な支援ができたか。

19

### ④授業交流(授業公開と研究協議)



20

## 授業改善に係る成果と課題

#### 成果

- 教職員の連携意識の高まり
- 「きき合い学び合う」姿の変容
- 受容的な雰囲気醸成

#### 課題

- 授業改善の不十分さ
- 児童生徒の見取り

21

## 外国語連携研究部

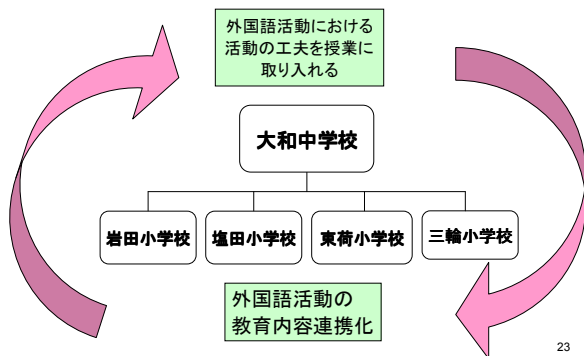
- カリキュラムやアクティビティ、クラスルーム・イングリッシュ、英語ノート、教材等の連携



- 学習意欲を高めるとともに、言語活動を活発にし、コミュニケーション能力を向上させる

22

## 小・中が連携した授業の構築



23

## 具体的な実践

1. 小・中接続を考えた年間指導計画の作成と活用
2. 中学校と小学校4校で共有できるデジタルデータ作成と活用
3. 児童・生徒が進んでコミュニケーションを図ろうとする授業の工夫

24

実践事例

1. 小・中接続を考えた年間指導計画の作成と活用

小学校年間指導計画

単元	教科書	単元	教科書	単元	教科書	単元	教科書
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12

小学校6年指導計画

中学校外国語科との関連

【1年】  
Let's start4 どんどん英語を使ってみよう。  
授業の始まりと終わりのあいさつ  
初対面のあいさつ  
クラスルームイングリッシュ

【1年】  
Program3-1 シンガポールからのお客さん  
● 自分のことを紹介できるようにしよう。  
"Good afternoon, everyone. My name is James Chen."

中学校1年指導計画

小学外国語活動との関連

【6年単元1, 2】  
・アルファベットで遊ぼう。  
・いろいろな文字があることを知ろう。

【6年単元2】  
・ジェスチャーをしよう

【5年単元1】  
・世界のこんにちはを知ろ

【5年単元4】  
・自己紹介をしよう。

【5年単元7】  
・クイズ大会をしよう。

【6年単元7】  
・自分の一日を紹介しよう。

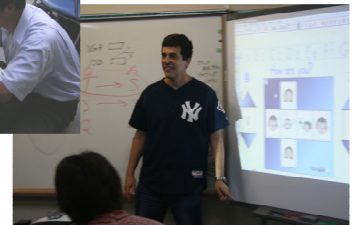
第1学年 英語科 学習年間計画(シラバス)

単元	教科書	単元	教科書	単元	教科書	単元	教科書
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12

実践事例

2. 中学校と小学校4校で共有できる  
デジタルデータ作成と活用

- 電子黒板対応のデジタルデータ・ピクチャーカードの作成
- デジタルデータ・ピクチャーカードの効果的な活用



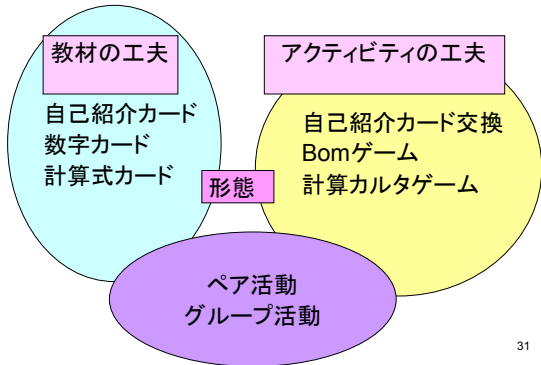
短時間で複数の教材作成が可能

データづくりの技術習得



実践事例

3. 授業の工夫



2つの小学校での交流授業の実施



外国語連携に係る成果と課題

成果

- 英語への親しみ
- 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲の高まり

課題

- 積極的に話すことができる児童生徒の育成
- 個に応じた指導の工夫

交流学习推進研究部

- 中学生と小学生、小学生同士が共に学び合う多様な交流学习を効果的に実施



- 中学生に自己有用感を味わわせるとともに思いやりの心を育てる
- 小学生が中学校生活や中学生への憧れを抱き、小・中の滑らかな接続を図るとともに、豊かな人間関係を構築する

実践事例 1 (中→小)

小・中ふれあい交流学习

- 進んでコミュニケーションをとり、児童生徒の交流を深める。
- 中学生にリーダーとしての自覚と責任感を培う。



実践事例 2 (小→中)

小・中交流授業

- 進んでコミュニケーションをとり、思いやりをもった児童生徒を育成する。
- 小学6年生が中学校入学の不安を解消することにより、滑らかな接続を図る。



## 児童の感想

- ・ 上手だったよといってもらえて、うれしかった。
- ・ やさしくていろいろ教えてもらった。
- ・ いっしょにやろうと声をかけることができた。
- ・ 吹奏楽部に入部しようと思うので楽しかった。
- ・ またいっしょに学習したい。



37

## 生徒の感想

- ・ 終わって帰るとき、目があって笑顔で答えてくれた。
- ・ 小学生の一所懸命さに自分の小さいころを思い出した。
- ・ 笑って飛び跳ねて喜んでいる子を見ると、私たちがきて喜んでくれたかなと思った。



38

## 交流活動に係る成果と課題

### 成果

- ・ 交流そのものを楽しむ気運の上昇
- ・ 好ましい人間関係の醸成

### 課題

- ・ 教員の協議の時間の確保
- ・ 移動に係る安全性
- ・ 配慮を要する児童生徒の情報交換や指導

39

## 2年間の成果と課題

- ・ 3回のアンケート調査(27項目:H22. 7, H22. 11, H23. 7)で児童生徒の変容を検証

学習(ペンキ塗り)に関するアンケート(1~4年生)  
 氏名 \_\_\_\_\_

下のことがらについて、あてはまるものを1つずつ丸で囲んでください。

1. 習字の練習より楽しいものに、おだん(習字の筆)より、1習あたりどれくらいの筆、ペンキ塗りしますか。(※「筆」よりペンキ塗りしている筆は入れません。)

○ まったくない ○ 20筆より少ない ○ 20筆ほど、40筆より少ない  
 ○ 40筆ほど、1筆より少ない ○ 1筆ほど、2筆より少ない  
 ○ 2筆ほど、3筆より少ない ○ 3筆ほど

2. 筆より習字より筆の習字の習字の、1習あたりどれくらいの筆、ペンキ塗りしますか。(※「筆」よりペンキ塗りしている筆は入れません。)

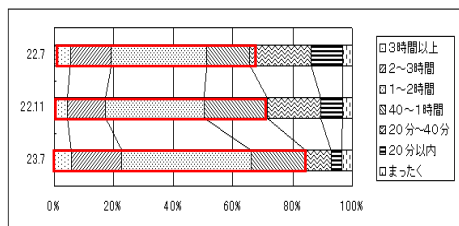
○ まったくない ○ 20筆より少ない ○ 20筆ほど、40筆より少ない  
 ○ 40筆ほど、1筆より少ない ○ 1筆ほど、2筆より少ない  
 ○ 2筆ほど、3筆より少ない ○ 3筆ほど

3. 習字の筆などで、筆の練習より楽しいものに、おだん(習字の筆)より、1習あたりどれくらいの筆、筆「筆」をしますか。(※「筆」より筆、筆をします。)

40

## 大和中学校生徒の実態の状況変化

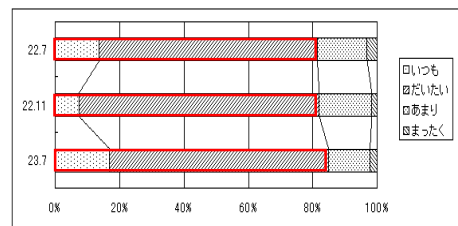
- ・ 平日の学習時間



41

## 大和中学校生徒の実態の状況変化

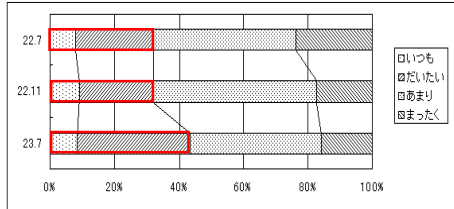
- ・ 授業の課題把握



42

## 大和中学校生徒の実態の状況変化

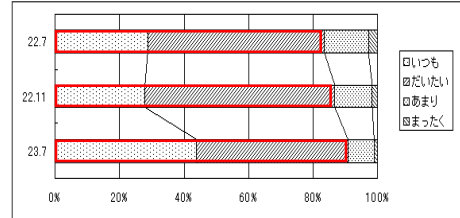
- 授業での考えの発表



43

## 大和中学校生徒の実態の状況変化

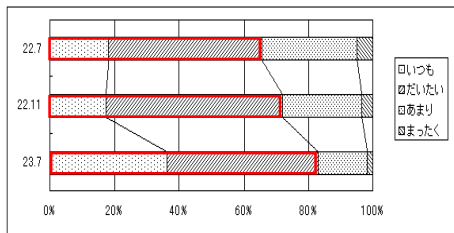
- 授業で友だちの話や意見を聞く



44

## 大和中学校生徒の実態の状況変化

- 授業で友だちと話し合う



45

家庭学習時間、授業準備  
授業での発表、話し合い 等で**意識の伸び**

小6→中1での追跡結果や小5、小6でも同様の結果が得られた。

- 確かな学びの向上
- 豊かな人間関係の構築
- 小・中の滑らかな接続が見られる



## 今後の課題

- 小・中の教職員・児童生徒が一層共通した認識をもち合うことで、小・中9年間の学びの連続性を確かなものとし、学力とコミュニケーション能力の向上を図ること
- 小・中の生活及び生徒指導に関する共通理解を深めることで、児童生徒の学習及び生活上必須のスキルを系統的に高めること
- 児童生徒の異年齢間の交流及び「小学校同士」での学校間連携を一層深めていくことを通して、児童生徒の自己有用感や向上心を育て、豊かな人間性や社会性を身に付けること

47

平成23年度 国立教育政策研究所教育課程研究センター関係  
指定事業研究協議会 資料

共に学び合う **大和っ子** の育成

ご静聴ありがとうございました

光市立塩田小学校  
三輪小学校  
岩田小学校  
東荷小学校  
大和中学校

48